

平成 22 年 1 月定例教育委員会会議録

1. 日 時 平成 22 年 1 月 26 日 (火) 午後 3 時 40 分～午後 5 時 30 分

2. 場 所 岸和田市立公民館 3 階 講座室 4

3. 出席者

委員長 毛利 高二 委員長職務代理者 坂田 忠義
委員 川岸 靖代 教育長 永本 定芳

4. 事務局出席者

教育次長兼教育総務部長	西田 寛	生涯学習部長	池阪 雄宏
学校教育部長	樋口 利彦	生涯学習課長	鍋谷 佐和子
総務課長	柿本 邦彦	スポーツ振興課長	元廣 秀晴
学校管理課参事	門林 啓之介	郷土文化室長	近藤 利由
学校教育課長	谷 桂輔	図書館長	松田 周光
人権教育課長	岡本 正之	総務課参事	阪田 京子
産業高等学校事務長	宮崎 信男	総務課参事	植田 和幸
		総務課参事	赤井 敏明

開会 午後 3 時 40 分

前回会議録について異議なく承認された。本会議録署名者に坂田委員長職務代理者を指名した。
傍聴人 0 名。

報告第 1 号 平成 21 年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査結果（岸和田市概要）について

○ 毛利委員長

報告第 1 号 平成 21 年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査結果（岸和田市概要）について、事務局から説明をお願いします。

○ 谷学校教育課長

（別紙「平成 21 年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査結果（概要）」に基づき、説明）
まず、本市の調査の参加状況ですが、小学校は 22 校 91.7%で、中学校は全て 11 校です。
小学校につきましては、一部、校舎の改修等の影響がありまして、全校の実施には至りませ

んでしたが、参加率は全国平均を超えている状況です。

小学校は5年生で実施しております。様々な種目の長さや回数等を数値化した体力合計点から見ますと、昨年度は男女ともに全国平均より3ポイント程度離れていましたが、今年度はそれぞれ1.5ポイント程度全国平均に近づきまして、男子の総合点は全国平均に近い状況です。特に、長座体前屈は柔軟性にかかる部分で、昨年度は弱いところでしたが、今年度、男子は全国平均を超えています。また、女子はソフトボール投げで全国平均をわずかに超えています。

一方、中学校の方ですが2年生で実施しており、男子は、ほぼ昨年度と同様で体力合計点において全国平均を3ポイント程度、下回っています。女子については、残念ながら合計点で全国との差が昨年度より開いております。

次に、質問紙調査についてですが、今回の結果を裏付けるように、運動実施状況、朝食の有無、テレビ視聴時間等において、課題が見られるのではないかと思います。

なお、この調査結果については、本日のこの教育委員会議で報告の後、近い時期にWEBページに公開する予定です。

○ 毛利委員長

説明が終わりました。質疑、意見等がありましたら発言願います。

○ 毛利委員長

体力測定は、やる気の問題もあるのではないかと。みんなが一所懸命すれば、数値も上がるような気がする。

○ 坂田委員長職務代理者

運動実施状況が悪いことの影響もあるのではないかと。

○ 谷学校教育課長

一般的に指摘されますが、よく運動するタイプの子とそうでない子の差が開いていると言われ、統計的には、岸和田の子は平均値でみると運動の実施状況がやや全国的に見て少なくなっています。

○ 毛利委員長

この結果は、学校へも知らせるのか。

○ 谷学校教育課長

ホームページでの公開はもちろん、学校へも知らせる予定です。

報告第2号 平成21年度岸和田市中学校冬季スポーツ大会の結果について

○ 毛利委員長

報告第2号 平成21年度岸和田市中学校冬季スポーツ大会の結果については、書面にて報告とします。質疑、意見等がありましたら発言願います。

○ 毛利委員長

区間賞をとった生徒で、特に速かった生徒はいるのか。

○ 谷学校教育課長

駅伝に関しては、長年、春木中学校が非常に強かったのですが、今年は、光陽中学校が優勝しております。

報告第3号 「公民館等点検評価」の実施について

○ 毛利委員長

報告第3号 「公民館等点検評価」の実施について、事務局から説明をお願いします。

○ 鍋谷生涯学習課長

社会教育法が平成20年6月に改正され、第32条に、「公民館は当該公民館の運営状況について評価を行うとともに、その結果に基づき公民館の運営の改善を図るため必要な措置を講ずるよう努めなくてはならない」という努力規定が定められました。

今回、19館の公民館を擁する本市にとって必要な対応と考え、公民館の点検評価をする運びとなりました。その趣旨は、法律の精神を則り、公民館等の課題や方向性を明らかにすることにより、効果的な公民館運営を図るということと、市民に信頼される公民館運営を推進するものです。

また、実施にあたり、外部の意見を聴くために4名の学識経験者を評価委員としています。既に、1月7日に第1回目の評価委員会を開催しており、教育委員会全体の点検評価の評価シートを1館1枚作成したものを説明しました。第2回は2月12日に予定していますが、それまでに各委員の意見をいただくこととしています。それらの意見を各館長に伝え、館長が必要な評価シートの修正を加えて第2回の評価委員会に報告、意見交換等を考えています。

来年度からは、実施時期を早めて教育委員会全体の点検評価を行う前に、各論として公民館の部分と位置付けるものとして、年度当初から作業に入っていきたいと考えています。

○ 毛利委員長

説明が終わりました。質疑、意見等がありましたら発言願います。

○ 坂田委員長職務代理者

評価シートは、教育委員会全体のシートを使用したのか。

○ 鍋谷生涯学習課長

はい、同じ内容で使用しています。

○ 毛利委員長

来年度は、6月に報告書をまとめる予定なのか。

○ 鍋谷生涯学習課長

はい。教育委員会全体の評価報告書が9月議会にて報告されますので、それに間に合う形で6月と考えています。

報告第4号 「成人式」の結果について

○ 毛利委員長

報告第4号 「成人式」の結果について、事務局から説明をお願いします。

○ 鍋谷生涯教育課長

今回は、特に参加率が81.8%で前年度よりも1割以上の高い率となりました。これは、これまで式終了後に手渡していた記念品のお餅を、今回は入場の際にプログラムと一緒に手渡したことによるものかと考えています。また、従事者は、警察官が減り、支援の団体が増え、計438人の協力を得ました。

○ 毛利委員長

説明が終わりました。質疑、意見等がありましたら発言願います。

○ 毛利委員長

アトラクションのチアリーダーや幼児のマーチングがあることで、かなり静かになってきましたね。チアリーダーの数は減ってますか。

○ 鍋谷生涯教育課長

はい、この成人式への出場者は昨年度より10名減っています。

○ 永本教育長

岸和田市では、式で暴れるということは無いのですが、式終了後に外で同窓会をしており、会場に迷惑をかけている現状があります。後で他の場所で同窓会を予定していて、それまで時間がかかりあることから、つつい会場内でゆっくり時間を過ごすことになってしまっていると思います。その辺の工夫もし、スムーズになるようまたいいムードで終わるようにと考えています。

○ 永本教育長

今回は、ゴミやプログラムなどの忘れ物は少なかったですね。

○ 樋口学校教育部長

プログラムとお餅を入れる袋があったので、持って帰ってくれていました。

報告第5号 市民公開講座「ワード・エクセル中級講座」の実施について

○ 毛利委員長

報告第5号 市民公開講座「ワード・エクセル中級講座」の実施については、書面にて報告とします。質疑、意見等がありましたら発言願います。

○ 毛利委員長

従来どおりですね。

- 宮崎産業高等学校事務長
はい、そうです。

- 毛利委員長
その他報告案件はありませんか。
- 元廣スポーツ振興課長
泉州国際市民マラソンの新聞が出来上がりましたので、お手元に配付させていただいています。これは、毎年開催しており、第 17 回を迎えることとなります。岸和田市の選手通過時間が 12 時から 1 時 10 分位までとなっており、一番大変なのが沿道の対策で約 400 名位の方にボランティアで応援していただいています。当日のご協力をよろしくお願いします。
- 永本教育長
今回の実行委員長は、忠岡町の順番ですか。岸和田市はいつ実行委員長になるのですか。
- 元廣スポーツ振興課長
はい、今回は忠岡町です。岸和田市は、平成 25 年度から 2 年間、副委員長をした後、平成 27 年度から委員長となります。
- 永本教育長
大阪府もマラソンを行うという話があるようですが、何か関連があれば、聞きたい。
- 元廣スポーツ振興課長
今のところ、平成 23 か 24 年度位に大阪マラソンを行うということで、知事が構想を立てており、それを開催するとなると、こちらの大会をどうするかということも議題にはあがっています。
ワンウェイのこのマラソンは、珍しいので 3,000 名の参加者もすぐに一杯になるような状態ですが、市民マラソンという名前がついているので、是非とももう少し参加者を拡大したいと思っています。しかし、警察当局との協議や、9 市 4 町で共催している点でもまとめることが難しい状況です。
- 池阪生涯学習部長
大阪府から、車椅子マラソンの話がありましたね。
- 元廣スポーツ振興課長
はい、しかし時間の延長という点などで、お断りしたということになりました。
- 池阪生涯学習部長
沿道警備、関空連絡橋の高低差や主旨が違うということで 9 市 4 町で話し合い、お断りしたものです。
- 坂田委員長職務代理者
岸和田市は通過都市であるが、ボランティアの方々は本当によくやってくれていますね。

○ 元廣スポーツ振興課長

はい、特に2線（沿道から一本入った所）に行っている方は気の毒です。ご協力いただいています、その方はレースを見れないし、いつ終わったかも分かりづらい。うちの職員も自転車で走り回って、その方たちに状況を伝えている状態です。各市町村その沿道のこと、悩みが多いです。

○ 毛利委員長

その他に報告は無いですか。

○ 近藤郷土文化室長

熊沢友雄日記の2が出版されました。内容は、1の続きとなっております。

○ 永本教育長

これは、当時の歴史的背景を知るということでよいのか。

○ 近藤郷土文化室長

はい。この程度のボリュームだと全部で十冊程度になるかと思っています。

この方は、岸和田藩士で幕末には藩の要職を務めて、明治になってからも要職に就いていた方ですので、日記には世情といったものが、よく出ています。

また、もう一つの報告ですが、これまで文化財の収蔵場所に苦慮しておりましたが、旧八木南保育所の建物を確保することが出来ました。保育課から建物だけを借りることとなります。500平方メートルありますので、現在市内4ヶ所で保管している資料等をこの1ヶ所にあつめて集中管理が出来るようになります。時期は来年度4月からです。

○ 毛利委員長

次に、案件に入ります。

議案第1号 平成22年度岸和田市立産業高等学校定時制二次入学者選抜募集要項について

○ 毛利委員長

議案第1号 平成22年度岸和田市立産業高等学校定時制二次入学者選抜募集要項について、事務局から説明をお願いします。

○ 柿本総務課長

（別紙募集要項について説明）

1. の応募資格が一次選抜と違う点は、二次選抜出願時に他の高等学校に合格していない者、又は合格しても入学の資格を失った者を追加しています。2. の募集人員は商業科80名の定員の欠員人数となりますので、現在は未定です。3. の出願期日及び時間は、3月24日の水曜日、午前9時から正午までです。4. の出願書類等は、一次選抜と同様です。5. の学力検

査は実施しません。6. の面接は、全員について、出願時に行います。7. の合格者の発表は、3月26日の金曜日、午後2時に行い、当日2時30分から合格者説明会と入学諸経費の納入を行います。8. の調査書及び成績一覧表の提出期限は、原則、出願時に提出となっています。

○ 毛利委員長

説明が終わりました。質疑、意見等がありましたら発言願います。

○ 坂田委員長職務代理者

例年、二次入学者はどの位の生徒の数ですか。

○ 宮崎産業高等学校事務長

昨年の実績ですが、一次選抜が定員80名のところ39名が応募し全員合格となり、そのため、残る41名の枠で二次選抜を行ったところ、33名の応募があり全員合格となっております。

○ 毛利委員長

この定時制の生徒も高等学校の学費無償化の対象となるのか。

○ 宮崎産業高等学校事務長

国の案では、定時制も無償化の対象と聞いています。ただ、一度、高等学校を卒業した者や48ヶ月以上在籍している者は除外される方向のようです。

○ 毛利委員長

他に質疑、意見等がないようですので、本件について、原案のとおり承認することにご異議ございませんか。

(異議なし)

○ 毛利委員長

ご異議がないようですので承認します。

議案第2号 平成22年度全国学力・学習状況調査の実施について

○ 毛利委員長

議案第2号 平成22年度全国学力・学習状況調査の実施について、事務局から説明をお願いします。

○ 谷学校教育課長

ご存知のように平成19年から21年度までは、国が実施主体となり、小学6年生、中学3年生全員を対象としてきたところです。平成22年度の実施形態について大きく変わり、全員調査から抽出調査という方向に変わっています。調査の方法は、全国的に約30%の抽出率で行われ、本市では中学校3校が国の抽出校として連絡を受けています。しかし、小学校は24校ありますが抽出校はありませんでした。また、報道等でも公開されていますが抽出した学校以外については、学校の設置管理者の希望により希望利用出来ることとされています。また、調査結果の取り扱いですが、国と都道府県の集計を行い、市町村や学校毎の集計は行わない等の方

向となっています。

最後に、国の抽出校中学校3校以外についてですが、設置管理者つまり岸和田市教育委員会の希望により調査の利用が可能であります。これらの点を踏まえまして中学校3校以外の参加について、本教育委員会で審議していただきたく議案として上程した次第です。

○ 毛利委員長

説明が終わりました。質疑、意見等がありましたら発言願います。

○ 永本教育長

大阪府は、市町村で考えなさいというスタイルですね。

○ 谷学校教育課長

はい、そうです。

○ 毛利委員長

学力調査について、市民の声はあるのか。

○ 谷学校教育課長

現在のところ、こちらでは学力の結果を重く受け止めているところですが、早急に改善策をとるよという意見が市民代表である市議員の方から出ている一方、複数の団体からは参加については国の抽出で十分ではないかという要望もいただいています。

○ 毛利委員長

府下の参加状況はどうか。

○ 谷学校教育課長

大阪府は状況を徐々に把握しているところですが、こちらでは他の市町村について正確な情報は得ていません。ただ、先日、一部報道で現在までの状況ということで、国全体では希望利用もするというのは40%程度で、大阪府下でも12市町村が希望利用参加と聞いています。しかし、まだ過半数の市町村においては教育委員会で審議をするので、今後どうなるかは現時点では把握出来ていません。

○ 永本教育長

本市にも報道機関から問い合わせはあったのか。

○ 谷学校教育課長

はい、抽出校数と希望利用についての考え方についてありました。回答も中学校3校と希望利用は教育委員会議を経て決定すると伝えています。

○ 毛利委員長

抽出校は、公表されるのか。

○ 谷学校教育課長

はい、国は、実施後に開示請求があれば、校名を公表すると聞いています。

○ 坂田委員長職務代理者

これまで、学力調査を行ってきて、岸和田市の子どもたちの学力ということを考えていくた

めに、中学校は抽出されているが、小学校については、事務局としてどう考えているのか。

○ 谷学校教育課長

小学校においても検証するため、何校かは実施したいと考えています。

○ 坂田委員長職務代理者

やはり、子どもたちの学力を考える上で、小、中学校ともにデータをつかみ対応していくことが必要だと思う。ただ、予算の問題があるが。

○ 永本教育長

中学校は、一定把握できるが、小学校の状況をつかむことが必要。市教委としても継続利用したいと考えています。

○ 坂田委員長職務代理者

私も、もう少し続けてみる必要があると思います。我々は、市の主体性で子どもたちの基礎学力をつかみながら、現場で教育の充実を図っていくという意味では、小学校も調査は必要と考えます。学校数は、地域、学校の規模を考慮し、何校がよいか考えればよいのではないかと。

○ 永本教育長

3割程度は、市として行うということで考えていかなければならないのでは。

○ 毛利委員長

市教委で抽出しなければならないのか。

○ 樋口学校教育部長

中には、学校現場にこれを説明した時に、分析、改善を図りながら進めてきたので、自主的に続けるという学校はあるかと思います。

予算のことですが、1校あたり75万円の学力向上支援事業がありますので、それを利用するという市町もあると聞いており、その中から使うという方法もあろうかと思っています。

○ 谷学校教育課長

希望すれば、問題用紙は無料でもらえます。採点、集計に費用がかかります。

○ 永本教育長

学校は、学力向上のチームを作っていることもあり、自ら手をあげてもらいたい。一律にやらせるより効果的だと考える。

○ 西田教育次長兼教育総務部長

少なくとも3割以上は参加しないと、統計とはならないのではないかと。

○ 樋口学校教育部長

先程、申しました学力向上支援事業を利用し、外部採点ということであれば、より学校側としても希望を出しやすいのではないのでしょうか。

○ 西田教育次長兼教育総務部長

学校側に手をあげてもらい、数が3割に満たない場合は、市教委が指名するということではどうでしょう。

○ 永本教育長

この方向で、どうでしょう。我々としても説明、分析できますし都道府県は結果が出ますから、比較が可能ですし。

○ 坂田委員長職務代理者

岸和田市教委の考え方として、抽出、希望に関わらずデータ収集は継続していくという方向性で先程の方法で実施してよいのではないかと。

○ 毛利委員長

今の意見で結論が出たと思いますので、そのようにすることにご異議ございませんか。

○ 毛利委員長

ご異議がないようですので、そのように決定します。

議案第3号 人事案件について

○ 毛利委員長

議案第3号 人事案件につき、非公開が適当と考えますがいかがですか。

(委員の同意意見あり)

○ 毛利委員長

非公開への賛同がありましたので、議案3号 人事案件については、非公開とします。関係者以外は退席願います。

(関係者以外退席)

(審議)

閉会 午後5時30分

本会議録に相違ないことを認め署名する。

委員長

署名委員